

# かなづかい①

かなづかいとは、かなで 言葉を 書き表すときの かなの  
使いかたのきまりのことです。

言葉と言葉をつなぐ「は」「を」「へ」は、  
「わ」「お」「え」と書かないように気をつけましょう。

- おかあさんはやさしい。



- おいしい空気をすう。



- 町へ出かける。



## かなづかい②

のばすときの「お」と「う」のちがいに 気をつけましょう。

- のばして発音したとき、発音どおりに書くもの

こおろぎ      おおきい      こおり

- のばして発音したとき、発音どおりに書かないもの

おうさま      ろうそく      りこう

★ 「おおきい」「こおり」などのように、  
オの音をのばすものでも、「う」にはならない  
ものがあるので、注意しましょう。

## かなづかい③

「いう」と「ゆう」のちがいに気をつけましょう。

- 「いう」と書くもの

そういうときにはわたしに聞きなさい。

そんなことは、いうまでもないことです。

田中さんという方がおみえです。

- 「ゆう」と書くもの

ゆうびん さゆう（左右）

ゆうえんち（遊園地）

★ 「言う」という意味で使うときは、「いう」と書きます。

## かなづかい④

「ジ」「ズ」と発音する言葉のかなづかいに 気をつけましょう。

- ・ ふつうは発音どおりに「じ」「ず」と書きます。

じぶん・じめん・みず・ずが…

- ・ ほかの言葉のあとについて一語を作るときは、「ち」「づ」と書きます。

鼻 + 血 → はな **ち**

三日 + 月 → みか **づ**き

- ★ 「ち」「つ」が重なってにごる場合も、「ち」「づ」と書きます。

ち **ち** む・・・「ち」が重なる

# かなづかい⑤

正しいかなづかいを覚えましょう。

- 母に言われたと**お**り、へやのそうじをした。
- 「こんにち**は**。」とあいさつをする。
- こう**い**うことは、よくあることです。
- **じ**めんの中には、お**お**くのみみ**ず**が生きている。
- いそがしいので、どこ**へ**もよらずにまっすぐ家に帰ります。